

自治会連合会会報

第18号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、交通安全パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



平成25年5月に全線が開通した藤塚米島線

● 主な内容 ●

- 自治会・町会・地区・区の特徴および活動状況の紹介、役員視察研修会報告
- 粕壁地区の紹介、地域貢献賞表彰報告

平成25年度活動報告

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| ● 定例総会…………… 平成25年 5月16日 | 武里地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 自治会活動の手引き発行…………… 5月16日 | 武里団地地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 春のクリーンデー…………… 5月26日 | 豊春地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 正副会長会議…………… 4月12日他 6回 | 幸松地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 理事会…………… 4月12日他 6回 | 豊野地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 役員研修会…………… 11月14・15日 | 庄和地区体育祭…………… 10月13日 |
| ● 「自治会加入促進に関する協定」締結…………… 8月23日 | ● 研修会 講演 …………… 10月24日 |
| ● 各地区体育祭の実施 | 【演題】「自治会・町会の活性化～魅力ある自治会活動」 |
| 粕壁地区体育祭……………10月13日 | |
| 内牧地区体育祭……………10月13日 | |

【協力事業】

- ★日赤社資・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★マイバッグ持参運動の推進に伴う、容器包装ごみの削減に協力
- ★災害時要援護者避難支援制度へのモデル自治会として協力
- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整

【その他】

- ★ごみの5分別収集への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力
- ★東彩ガス防災供給センター視察
- ★東日本大震災で被災された方々への義援金及び支援金募金活動 等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●

備後須賀第二町会



町会長
石川正司

備後須賀第二町会は、武里地区のほぼ中央で開校140周年を迎えた武里小学校の南側の位置にあります。17年前に備後須賀町会が5つの町会に分割されて現在に至っており、約285世帯が加入しています。

町会の組織は、会長、副会長、会計役、監査役、民生委員、体育委員、クリーン推進委員、地域防犯推進委員、自主防災委員で構成されています。

主な行事は、5月には春のクリーンデーに参加し、美しい町づくりを推進しています。9月には備後須賀連合町会の運動会を行い、相互の親睦を深めています。



懇親会

ます。同時に防災訓練を行っています。10月には武里地区体育祭に参加し、地区発展に務めています。11月にはシニアの方を対象に食事、映写、ビンゴゲーム会等を行って近所の絆を深めています。12月にはもちつき大会を行っており、参加者は年々増加しています。1月には役員班長会議に合わせて他の会員を含めた新年懇親会を行っています。10年程前の町内では、空き巣、のぞき等の被害が散発していましたが、年間を通して夜廻りするようになってからは激減しています。この他にも県、市、各団体が主催する講習会、研修会、説明会等に各役員が積極的に参加しています。

今後とも安心安全な町づくりを目指しますので、ご指導ご協力宜しくお願い申し上げます。

内牧三区



区長
田口 修

春日部市の北西に位置する内牧地区は、内牧の中心地に内牧小学校があり、その学校を取り巻くような格好で三区の地域が成り立っています。昔からの区割りで三堂半縄と高野山口、2地区12班、112世帯で構成されています。農家と非農家の混



防災訓練

在した小さな自治会です。春日部市内で一番緑の多い地域だと思えます。春先の樹木の新芽・田んぼには整然とした稲と、秋には黄色い稲穂が田んぼいっぱいに広がり見事な光景です。

自治会の年間活動は新年会・総会・ゴミの清掃・夏祭り・地区体育祭への参加・親睦旅行会・防災訓練・子供会・他にサークル活動としてカラオケ愛好会・ソフトボール愛好会・グラウンドゴルフ部・さつき鑑賞会も活発に活動しています。

平成20年6月から始まりました近所間の互助組織「黄色い旗作戦」は地震等災害があった場合、自分の家庭は大丈夫と言う家は玄関前等の目立つ所に「安全である」旨の印として「黄色い旗」大きさ90cm×90cmを出して置く、出ていない家には隣近所が声を掛け救助を要する場合には助けるという作戦です。

何時来るかわからない「有事」に備えて、毎月第一日曜日朝8:00～10:00の間黄色い旗を出して置くという訓練も行なっております。

また、新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶の資源回収も行なっており、これらの事も含めて色々な行事が自治会の互助精神に一役買っています。更なる住み良い自治会になるように活動を進めて行きたいと思っていますので今後とも皆様のご協力をお願い致します。

藤ヶ丘文化村自治会



自治会長
望月恒明

当自治会は、豊野地区の中央に位置し、ぶぎん支店前交差点を軸に、北東方向に500世帯、南西方向に500世帯の計1000世帯前後の会員数で推移しています。昭和42年、当地域では最大の戸建ての団地として建設され、同44年に自治会が発足しました。組織は、会長、副会長、理事5名、総務部・会計部・広報部・防災部・環境福祉部の5部（理事が部長兼任）を設け、14ブロックから正・副ブロック長を選出、各部の活動に従事、73班の班長も役員として奔走しています。



ふれあいサロンコンサート

自治会の年間の3大事業は、「和やかに、結び合い」の合言葉の下、会員総出で行う7月の納涼祭、10月の地区体育祭、11月の6自治会合同の防災訓練があり、有事に備えると共に各事業を通して住民の絆を深める機会にしています。一方、毎月、プロック長会議、理事会を開催し役員の連携を図り、会員は、ふれあいサロン、子ども会、各種の文化活動等で親睦と交流に努めています。また、広報紙「ぶんかむら」の年間5回発行により身近な情報の発信をしています。防災防犯面では、街頭に防犯灯、消火器を設置、救助用機材等も整備しています。環境福祉部では、敬老・弔意・出産・入学への対応、日常生活から出される廃食用油の回収等エコ活動も実施しています。超高齢化社会を

迎えた今日、「たすけあう、まさかのときの、となりびと」を心に念じ、安全で安心して住める街づくりを進めています。

殖産自治会



自治会長 大久保 劭

本自治会は、昭和40年代後半に東武線南桜井駅南東、500m程のところに開発・販売された住宅団地住民により組織されたもので、名称も開発企業由来しております。

近隣には、この手の名称の自治会が他にもあり、かつて、首都近郊に次々と開発されていった住宅団地の歴史を知る上でも、とても面白い現象のように思えます。

自治会の構成世帯数は、7班で125戸、住民数は約300人です。

役員選出は、会則上、副会長(2名)と班長は輪番制、会長は互選と定められております。中心的な活動としては、資源物回収等基本的事項はもちろん、サロンの活動を担っている「殖寿会」、「さくら会」のグループがあります。

防災対策においては、昨年の防災訓練に際し、市当局のご協力により地震体験車による恐怖



清掃活動

体験も経験できました。

しかしながら、開発当初からの住民は6割程となっており、少子化(今年の新入学児童4人)、高齢化(高齢の1人世帯、2人世帯が自治会員の4割を占める)が顕著です。会長のなり手の不足や、自治会活動に参加する方の減少は深刻な問題になりつつあります。高齢化の進む現状を踏まえ、災害時要援護者避難支援制度の導入も課題と考えています。地域の皆さまのご協力と、市からのご指導が必要と考えています。何卒よろしくお願いいたします。



宮本町町会



町会長 近藤 康男

私達の住む宮本町町会は、八幡神社・稲荷神社・八幡公園の恵まれた環境を有し、区域の中央部に公会堂があります。

町会は、約400世帯ほどの加入者により構成されており、会長・副会長をはじめ顧問・相談役・会計・監査・総務など16名の役員と、町内14組の組長がいます。公会堂は、定例総会や会議等で使用しますが、それ以外にも各種団体がレクリエーションに使用したり、多目的に使っています。

年間事業としては、青少年の「安全・健全・育成」を計る事を目的とする町内パトロール、春のクリーンデー・市民夏祭り、



夏祭り

夏期補導・盆踊り・相撲大会・防災訓練・敬老の集い・地区体育祭・宮桜会(老人会)の芸能の集い等があり、各事業に際しては、役員会で数回の会議を開いて内容を検討し計画します。また実施後には、結果報告、必要事項の検討をしております。

盆踊りにつきましましては、隣の浜川戸町内会さんと合同で八幡公園内にて盛大に行います。敬老の集いでは、70才以上の方々を招いて、落語やカラオケ等で長寿のお祝いを致します。また、宮桜会(老人会)の芸能の集いでは、中央公民館を貸切りまして、踊り・カラオケ等で大いに盛り上がっています。

今後も安心・安全で住み良い街づくりをしていくためには、皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

新川地区



地区長 富山 幸夫

新川の地名の由来は、下総国の上流の水害を防ぎ、庄内古川の流水の便をはかるため堀割が行われ、利根川が古川と称したのに対し、庄内古川を新川と称したとされています。

地区の中央部には香取神社・無量院があり、香取神社では春



防災訓練

秋の祭礼を行っています。無量院には昔から「新川のお不動様」として親しまれてきた不動堂があり、旧暦正月の28日には、護摩会が勤修され、地区の行事として役員と各組の当番が出仕しています。

この地は、昭和22年のカスリン台風で大きな被害がありました。が、近くにある酒造倉庫への避難も隣保精神を発揮し、共同生活15日間事故なしの経験が語り継がれています。今でも毎年11月には防災訓練を実施し、地区内に居住する消防士の指導のもと、いろいろな訓練を体験し防災意識の高揚に努めています。

当地区では、市・幸松地区のクリンデーと8月には、区内、ちびっ子広場、神社境内の清掃作業を行い、終了後には慰労を兼ねた食事をを行い住民のコミュニケーションの場として

ボランティア活動として「地域の子は地域で守る」をモットーに、こどもたちの下校時のパトロールを実施し長年の実績に対し、平成22年に、春日部防犯協会、警察署より表彰をうけました。

昨今の自治会運営は、多岐多様化されており。歴史を重んじつつ、住民の方々と絆を大切に住み良い地区を目指し、一致団結して自治会運営を推し進めてまいります。



下谷原地区自治会 自治会長 小川 寛

下谷原地区自治会は、市の南西部にあり、北は武道館から春日部警察署そして共栄中の運動場脇の川までと、南は運動公園ウイングハットの間と広域で、中央に大沼公園が存在する住宅地半分、田園半分となっています。当自治会は800世帯が加入していますが、下谷原自治会(362世帯)、ふじの街自治会(163世帯)、グリーンコープ自治会(115世帯)、藤の台自治会(160世帯)の4つの自治会で構成された連合自治会として活動しています。

4自治会の共同事業を紹介すると、先ず5月の市の春のクリンデー、6月には豊春地区防災



救護訓練

訓練と元消防指令の防災の講演、会や消防士の防災機材の説明、救出救護訓練などを行っています。4自治会には消防署OB元指令や防災の専門家の防災士が6人おり、毎年増加中です。早めに防災士会を作り助言を戴き、効果的な自主防災体制作りに活かしていきたいと思えます。

今年60回目の記念大会を迎える10月上旬の豊春地区体育祭では、下谷原地区自治会・上大増自治会・下大増自治会が緑チームとして参加しており、連続総合優勝を目指します。11月には地区単独の秋のクリンデー企画と、育栄会と子供会との連携で行うワイワイ子供祭、炊き出し訓練後の親睦会と3本立てで楽しい行事が続きます。他にも11月の防災訓練、2月の次年度防災計画作りと続きます。今後は広報活動に力を入れ、イベント



白百合自治会 自治会長 渡邊 孝三

トなどの周知に努めます。

今後も地区内住民の親睦と交流の充実を進めて、3本の矢ならぬ4本の矢で、防犯・防災・衛生事業を進めて、子供たちの良い思い出作りと安心・安全な住み良い地域作りに努力していきます。

私達の白百合自治会は、国道4号線武里駅と岩槻の16号線に出る手前のショッピングセンターアピタとの中間に位置する125世帯の自治会です。

組織は、8班で構成され役員は会長、副会長、総務、会計、体育、防犯防災、保健衛生、文厚広報の8名役員で協力し合い頑張つて活動しています。

役員会は、毎月第一土曜日午後7時よりその月の計画を立てます。行事は、春のクリンデーに始まり、防災訓練は近隣の自治会と合同で公園で毎年やっております。AEDの体験や消火器の取扱い等を学びます。

ボランティアでは、児童下校時の見守り隊を9年間、近隣の自治会の皆様方と続けています。武里西小学校より「寒い日も暑い日も見守りありがとう」と毎



見守り活動

年感謝会に招待され生徒と一緒に給食を食べ、ゲームや合唱をして元気な声を聞いて楽しませてもらっています。

秋の体育祭は、春から準備に取り組み、役員や子供会の方々に選手として出場していただくようお願いしていますが、なかなか苦勞しているようです。11月にはゆりの会という敬老会があり、毎年続けています。昼食をとり、ビンゴゲームやくじ引きなど3時間ほど楽しみます。70才以上の方々も今年は100名に達して増々の長寿社会を実感しております。

子供会には、助成金を補助し夏祭りを行ったり、12月には子供会とボランティアの有志で4年振りで餅つき会を催しまして好評でした。これからも近隣の自治会と交流をもち、町内会の皆様の協力を得て安全で安心な町づくりを目指し、邁進して参りたいと思えます。

六軒地区自治会



自治会長 日向武雄

私達の住む六軒地区は、藤の牛島駅から東南に約15キロ、一ノ割から東に約2キロに位置しております。

世帯数は793世帯、昭和40年後半までは世帯数20世帯の田圃の多い静かな農村地帯でした。その頃都心通勤圏内として隣接文化村の開発がなされたことから、周辺農地のスプロール化を防ぐ為、区画整理事業が行われ、昭和54年に完成しました。それに伴い昭和50年代より急激に人口が増加、急速に発展し現在に至っております。

自治会の組織としては、会長・副会長・理事若干名・会計・監査・ブロック長9名・班長49名があり、定期総会で予算・事業計画を策定し、さらに毎月開かれる幹事会（ブロック長以上役員23名）で具体的施策を決定します。理事を筆頭に、各ブロック長は総務部・防犯部・広報部（年2回広報紙「コミュニティ六軒」現在第34号まで発行）・厚生部等いずれかの部に所属し、活動しております。



夏祭り

による公園草取り、7月の班長会においては記念館の消火訓練、8月の夏祭り（午前中は200年近く続く伝統行事である大杉神社の御輿による「辻きり」を行い、「五穀豊穣」「家内安全」を祈願、夕刻より子供祭りをはじめに、各ブロック毎に模擬店を出店し賑わう）があります。10月には地区体育祭に他の自治会と共に藤塚南チームを組成参加し、2年連続優勝しております。また近隣5自治会と合同防災訓練を実施、いざというときの心構えを養っております。1月には地区発展のため懇親会を開催、コミュニケーションを図る機会としていきます。

当地区も区画整理事業から35年が経過、まさに少子高齢化の時代に突入、世代交代をどう進めていくか、自治会のあり方も問われているところです。

今後とも「住んでよかった六軒地区」を目指してまいります

ので、会員各位の暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

正風タウン自治会



自治会長 坂本久一

私たち正風タウン自治会は、1974年に発足し南桜井駅から徒歩7分「正風館」の南側に位置し全149世帯で構成してまいります。

区域内に事務所などを有する自営個人営業者の皆さんには、賛助会員としてご協力をいただいております。役員体制は、各班選出（輪番制）13名によって構成してまいります。

年間活動は、会員全体で行う5月の春のクリーンデーをはじめとして、防災訓練や会員親睦会、年末大掃除など多岐にわたっております。定例役員会の他、臨時でも役員会を開催したり、募金活動など地域諸団体への助成と協力も行ってまいります。

当自治会として力を入れて取り組んでいるのは地域内の環境美化であり、奇数・偶数班に分け無理なく毎月2箇所の公園清掃を実施しています。さらに、リサイクル活動は行政（当時庄和町）の提案を受け入れて今日まで継続実施し自治会の貴重な



防災訓練

緑町の中に、元新宿と川久保の二自治会があります。元新宿は、野田線の4号線のガードから、一ノ割の境まで、国道の両側です。市内で一番の2000世帯が加入しています。しかし最近、町内会の退会者が多く、ここ数年で400世帯退会しており、町内会運営の難しさを実感しております。

財源になっていきます。当自治会は「高齢化問題」を重視して「お手伝い110番活動」などを方針化し、資源リサイクル日に重くして一度に運べない方のお手伝いをしていきます。また、毎月自治会からのお知らせを発行し、各種行事案内とその報告を必ず行っております。民生委員との相互協力や意見交換、行政からの高齢福祉事業制度の紹介なども始めていますが事業の継続と充実の為に、今後の検討、研究が必要となっております。これからも市と協力して、住みよい地域となるよう努力してまいります。

元新宿町内会



町内会長 関根慶剛

町内会内に組が25あり、行事は5月の春のクリーンデー、7月の市民夏祭り、8月の町内会盆踊り大会、10月の体育祭、12月の防災訓練と種々の行事を町内会あげてやっております。地域内に緑小学校、緑中学校と小中二校があるため、学校との関係が密接です。学校行事に参加するだけでなく、種々の問題点を話し合い地域社会で協力できる事は、全員でやっております。



夏祭り

緑小学校近くにある町内会館は、事務員が月曜から土曜まで、

午前中勤務しております。世帯数が多いため、事務作業も多く、市の広報紙・回覧板類の仕分け、会館の貸出し受付、役員への連絡事項などがあります。それらの事務作業や会館内の掃除などを行い円滑な活動の手助けとなっております。私自身が粕壁地区自治会連合会の会長をしており、そちらの用事も多忙をきわめます。従って町内会の細かい運営は小暮常雄副会長を先頭に他二人の副会長にお任せしております。今後とも皆様の協力のもと、活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

牛島一 番組自治会



自治会長
関根茂夫

私達牛島一番組自治会は、東武野田線藤の牛島駅の西側にあり県道から古利根川側の区域になります。

世帯数約400で牛島地区4自治会の中では2番目の規模になります。野田線を東西にはさみ上、中、下組全18班に分かれ27名の役員と6団体で構成されています。

牛島地区4自治会が合同で行う自治会活動としては、春と秋のクリーンデー、幸松地区体育



いも掘り

祭の参加、牛島4番組鈴木連合会長が中心となって行う防災訓練、11月の文化の日に牛島小学校体育館で行われる「文化の集い」、高齢者を対象に民生委員の方とふれあい食事会、防犯推進委員による防犯パトロール等の活動を行っております。

牛島一番組自治会単独の事業としては、春のじゃがいも掘り、秋のさつまいも掘りを実施し、多くの方に参加をいただいております。当日は牛島一番組集会所において、大鍋を使つての炊き出しを行い、会員・地域住民同士のコミュニケーションを図っております。今後も地域住民同士のコミュニケーションの活性化と安心・安全な地域を目指し活動して行きたいと思っておりますので皆様のご支援ご協力をお願い致します。

上蛭田西自治会



自治会長
吉田敏雄

当上蛭田西自治会は、東武野田線の豊春駅西口側一帯の住宅街です。構成は、3組からなっており、第1組は、豊春町会(旧日立住宅)、第2組は、県営北団地、第3組は、レクシオ春日部豊春で、合計230世帯の自治会です。

上蛭田西自治会の主な事業は、以下の通りです。①市のクリーンデーに合わせ、駅西口から地区一帯の大掃除を行っています。②赤十字の赤い羽根募金に協力し、各家庭を個別に何い募金活動をしています。又歳末助け合い運動にも協力し、駅頭での募金活動にも協力しています。③10月に行われる豊春地区体育祭



三世代交流会

に、選手、役員、応援団として参加しています。その後、地区主催で、御苦労さん会と親睦会を、豊春町会(1組)の集会所で行い、懇親を深めています。

④11月に1組の豊春町会主催の歩こう会を支援し、協力しています。⑤12月に、豊春ジャガーズスポーツ少年団と共催で豊春ジャガーズの納会兼三世代交流会を行っています。当地区のいきいきクラブの協力を頂き、もちつき大会や、昔遊びを行っています。手作りの竹馬や、紙飛行機、紙芝居等、地域のひと地域の子供達が楽しく遊んでいます。⑥12月末に行う歳末防犯は、防災の見守り隊で見守っています。

この地区も高齢化が進み、どのように助け合うか、問題が山積しています。さまざまな行事を通して親睦を図り、地域の方々とコミュニケーションを取りながら安心・安全なまちづくりを推進していきたいと思っております。

上柳区



区長
坂巻輝夫

私たちの上柳区は、県道松伏・春日部・関宿線と中川に挟まれた位置に面しています。区内に国道4号線バイパスが縦断して



防災訓練

おり、東には8年前「道の駅庄和」が建設されました。地元の新鮮な朝取り野菜をはじめ、花卉・果物・手作り弁当等が所狭しと並べられ、終日、多くの人で賑わっております。

当区は、世帯数が192戸で面積の約8割が農業振興地域です。団体宮は場整備が実施されているお陰で道路・用排水路が整備されている為、四季を通じて美しい田園風景の残る散居地域となっております。

区の役員構成は、執行部として顧問、区長、副区長、会計の5名と他に、各地区5支部による計18名の役員、さらに長寿会、各小・中学校PTA等の各種団体があり、大変貢献して頂いております。

事業の主な活動内容として「庄和地区体育祭」への参加があります。多くの参加者が世代間交流を深め、和気あいあいとした雰囲気好評です。

また、「四地区合同自主防災訓練」につきましては、隣接する下柳区・金崎区・永沼区で合同訓練を行っており、避難訓練・救命救助訓練等を実施し、いざというときの為に備えると共に親睦を図る良い機会となっております。

区の特徴のひとつとして「自警団」組織があり、16名の団員は、それぞれの仕事を持ち多忙な中、地域の「安全・安心」の為に誇りを胸に日々頑張っており活動中です。

役員一同、今後も努力して参りますので、今まで同様、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



自治会長 庄野 豊

私達の大枝東自治会は、東に越谷大泊、北は越谷平方に接しており春日部市のはずれに位置しております。320世帯を3つのブロックに分けさらに25班に分けており私にとってはちょうど良い規模です。イベントも多く、お花見・防災訓練・夏祭り・敬老行事・体育祭・ふれあい祭・ボウリング大会・小学生児童歓迎会などがあります。

また日常的活動は、防犯パト

ロール・資源回収・ふれあい広場の清掃・お年寄りと子供の見守り・街路灯の維持管理等々。自治会役員の方にはご苦労を掛けております。地域コミュニティの充実には、自治会が開催するこれらのイベントは非常に有効であると考えています。イベントそのものは成功するに越したことはありませんが、その為の準備で役員同士や、会員とのふれあいが始まるからです。

最近力を入れたと思うことは、「災害」対策です。当自治会も高齢化が進んでいます。各家庭における家具の転倒・家屋の倒壊等の対策に自治会として何も関与できていません。年に1回実施する防災訓練も必要ではあります。災害が必要なレベルの災害に罹災した場合、私達の自主防災会が充分機能するとは思えません。各家庭が準備しておく物、自治会として何をどのくらい備蓄す



花見

るか、行政の支援はあてになるのだろうか？困っています。日中に災害が起こった場合、おそらく自身も帰宅困難者だろうし、多くの人は「避難者トリアージ」という言葉もご存じないかもしれせん。いつでも司令塔になれる人を至急配置する必要があると思います。私どもの自治会には防災士が2名いますが、少なくとも年に1名ずつでも増やしていきたいと思っています。また、もう一つの課題は現在、私ども大枝東自治会の加入率が86・6%であり、早く90%を超えたいと考えています。



区 長 関根次男

私たちの上吉妻区は、県道春日部・宝珠花線沿いで、大風あげ祭り堤防より手前の地区にあり、庄和中央通りに面した江戸川中学校を起点として江戸川堤防を背にうけた米作りが盛んな農業振興地域内にあります。世帯数は52戸で構成されておりますが、その中で4組合によって成り立っています。主な事業は

上吉妻区の新年会を始め市内一斉クリーン作戦、五穀豊穰を祈願する稲の花祭り、稲荷様(初午)、があります。

また、地区の中央を南北に流れ



草取り

る東排水路沿には、花壇36面にアジサイが定植されて、春から初夏にかけて色とりどりの花が咲きます。周りの草取り追肥、花咲き後の花の摘取り作業、夏には排水路内の藻刈等を行なって管理しています。秋には庄和地区による体育祭に参加し、そのあとの打ち上げ式にも多くの人が参加し親睦を深めています。また、稲の花クラブ、老人会では会員25名の中でグラウンドゴルフ、懇親を深めるため温泉旅行など計画を立て行なっております。

毎年12月には、春日部市立富多小学校の校庭をお借りして、上吉妻・小平・下吉妻地区による、自主防災会の合同防災訓練を市防災対策課の協力のもと行なっております。

今後も地域内の人と人とのつながりを大切にして住民の暮らしの安心・安全と活性化に努めていくよう心掛けていきたいと思っております。

役員視察研修報告

去る平成25年11月14日・15日、「自治会加入促進に向けた取り組み」及び「地域コミュニティの活性化」について、先進地である福島県郡山市と須賀川市を視察しました。

両市は、東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、市と自治会が連携し、復旧・復興に向けて積極的に取り組まれている様子を伺うことができました。また、研修のテーマである自治会加入促進及び地域コミュニティの活性化について、それぞれの市における取り組みの事例や課題等を伺いながら、活発な意見交換をさせていただきました。加入促進には、日頃からの声かけが効果的であることなど、住民同士のコミュニケーションの大切さを改めて認識したところです。

今後も、地域全員で協力し助け合いながら、自治会活動のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。



粕壁地区の紹介

粕壁地区は、江戸時代日光街道の宿場町(粕壁宿)として栄え、現在は春日部駅を東西にはさんで商業の中心地として発展してきた地域です。町並みは百貨店、銀行、寺社や桐箱、桐タンス、羽子板等の地場産業の町工場や商店がある中に住宅が混在して、マンション等も多く見られる地域であります。

駅の東口周辺は、昔の面影をしのばせる街路等の整備がされ、シャッターアートによる粕壁宿の景観再生に取り組んでいます。また、公園・道路・公園橋にはアートアメニティ構想による彫刻像が設置されています。

7月には、「春日部夏まつり」が行われ、粕壁地区の各町内会はもとより八丁目・小渕・内牧・庄和等の二十数基の御輿が繰り出され、市内・市外から多くの人が見物に訪れて夏の風物詩となっています。

西口周辺は、区画整理された町並みに銀行や証券会社などのビルが建ち並び、メイン通りのふじ通りでは、毎年4月最終日曜日に市民が中心となって作り上げる「藤まつり」が行われ、大勢の見物人のにぎわいます。その他には、初詣で多くの参拝者が訪れる市の総鎮守である春日部八幡神社や総合福祉センター(あしすと春日部)、中央公民館等の公共施設があります。

この地域で24の町内会・自治会により粕壁地区自治会連合会を組織しています。

防犯パトロールなど各町内会等の活動を一層強化し、会員数の拡大に努めながら、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して今後も活動してまいりますので、よろしく申し上げます。

粕壁地区自治会連合会会長 関根 慶剛

●粕壁地区自治会連合会(24自治会)

[敬称略]

自治会名	氏名
上町町内会	木村浩
仲町町内会	種村孝
本町地区会	坂田好之
三枚橋町内会	金子武
一宮町町会	長谷川紀八郎
東町町会	関根良夫
川久保自治会	飯島登
大砂町内会	中村正博
元新宿町内会	関根慶剛
内谷町会	齋藤正
大池町会	笥田吉一
浜川戸町内会	渡辺勝美
宮本町町会	近藤康男
八木崎自治会	青柳孝男
内出町会	新井陸雄
春日町町内会	齋藤富男
陣屋町内会	嶋根義彦
旭町町内会	田形全弘
幸町町内会	小島秀夫
富士見町会	栗田明生
元町町会	田中弘
中央1丁目町会	村田勸
中央2丁目町会	並木則夫
立沼町会	並木素生

*連合会名簿順

(平成26年2月1日現在)

地域貢献表彰報告

当連合会では、身近な地域で地道にかつ顕著な活動をされている方々の功績を讃えるため、平成20年度に地域貢献賞を創設しました。今年度は、平成26年2月15日の表彰式が雪の影響で中止となったため受賞者宅へ表彰状をお届けしました。ここに、受賞者のお名前を掲載し、長年地域に貢献いただいたことに深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりにご協力をよろしくお願い申し上げます。

○公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏名
本町地区会	秀間邦男
三枚橋町内会	前野清
大砂町内会	加藤清吉
浜川戸町内会	鈴木紀久子
内牧四区地区	川端トシ晴
栄町二丁目町会	飯塚光和男
栄町二丁目町会	高橋政男
大場中央自治会	高鈴木威
大畑自治会	田中存吉
谷原二丁目町会	今野由紀子
増富地区	市川由美
上蛭田地区	山賀瑞枝
小渕追分自治会	酒井隆司
樋堀地区自治会	鈴木裕幸
牛島3番自治会	内山英男
銚子口自治会	加藤日一
藤塚新田自治会	豊野森公朋
豊野町自治会	森下井之
新宿新田区	國井朝子
三井南桜井自治会	清水朝智
塚崎区	小野寺

*敬称略

地域ぐるみでオアシス運動

オアシス運動は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、

- オ：「おはようございます」
- ア：「ありがとうございます」
- シ：「失礼します失礼しました」
- ス：「すみませんすみませんでした」

を日ごろから言えるように、家庭・学校・地域などで「あいさつの輪」を広げましょう。

編集後記

寒さの厳しい冬でしたが、ようやく暖かな春の日差しが感じられる季節となりました。

本紙の表紙には、平成25年5月に全線が開通しました藤塚米島線の写真を掲載しております。春日部駅周辺と南桜井駅周辺の2つの市街地を結ぶ幹線道路の開通により、春日部市のますますの発展が期待されます。

昨年、当自治会連合会は、自治会加入促進に向けた取り組みとして、公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会埼玉支部・春日部市と「春日部市における自治会への加入促進に関する協定」を締結しました。この協定により、3者が連携して転入される方々などへ自治会加入の働きかけを行っています。

全国的に人と人とのつながりが希薄になっていと言われる時代ですが、自治会連合会としましては地域の皆様と協力して、地域の発展・住みよいまちづくりに取り組んでまいりたいと思っております。今後とも自治会活動へのご参加・ご協力をお願い申し上げます。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 関根 慶剛
- 副会長 板倉 肇
- 副会長 海老原 武
- 副会長 吉田 敏雄
- 副会長 石島 忠夫
- 副会長 松嶋 昇

発行日 平成二十六年四月一日
発行者 春日部市自治会連合会
事務局 春日部市役所市民参加推進課内
〇四八(七三六)一一一一